



小川っ子

唐津市立小川小中学校
 学校だより 第10号
 令和2年11月13日発行
 文責 高木 俊実

10月12日 ものづくり体験教室で和菓子作りを行いました。

佐賀ものづくりマイスターの古河義継さんをお招きして、「和菓子作り」を開催しました。今回は、和菓子の代表的な「練り切り」に挑戦し、「菊」、「ハロウィーンのカボチャ」、「ハロウィーンのおぼけ」の3作品を作りました。

将来はお菓子作りをめざしている児童もいて、プロの技をまじかに見て、直接アドバイスをもらいながら楽しくお菓子作りができたことは、貴重な体験であり素晴らしい思い出になったことと思います。



10月21日 おにぎりアクション2020

小川中学校では毎年生徒会の取組として、「おにぎりアクション」に取り組んできました。これは、日本の代表的な食である「おにぎり」の写真を特設サイトに投稿することで、1枚の写真投稿につき給食5食分に相当する寄付を協賛企業が提供し、NPO法人を通じてアフリカ・アジアの子どもたちに給食をプレゼントできる取り組みです。

今年は小学校5、6年生と中学生の4人で取り組みました。



10月30日 イモほり体験学習



小川保育園の園児さんたちもお招きして、小中学生全員で、イモほりの体験学習を行いました。

今年のいもは、とても出来が良く、大きなサツマイモをたくさん収穫することができました。文字通り島の子どもたち全員で取り組んだ行事となりました。



11月7日（土） 原子力防災訓練

原子力防災訓練は、小川島でも毎年行われていますが、今回は小川島では初めてとなる「大規模訓練」が実施されました。学校では、児童生徒、保護者が避難をした後、「親子防災教室」が開かれました。



その後、体育館のインナーテント体験と非常食の試食を行いました。

当日は、ヘリコプターでの緊急患者搬送（コロナウイルス感染を想定）が予定をされていましたが、悪天候のため、巡視船での移送となりました。

小中学校に一人1台の学習用PCが導入されます。（令和3年1月～）

一人1台のPC導入は、国の「GIGAスクール構想」に沿って行われるものです。

「GIGAスクール構想」とは、2019年12月に文部科学省から発表されたプロジェクトで、小中学校の児童・生徒に一人1台PCと、学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、子どもたちの「情報活用能力の育成」や「ICTを活用した学習活動の充実」を通して、一人一人の個性に合わせた教育の実現をめざす構想です。

佐賀県では、全国にさきがけて、2014年度から県立高校で一人1台の学習用パソコンを導入し、全県規模でICT利活用教育を推進し成果をあげてきましたが、小・中学校では、各市町で、PC導入の状況はまちまちでした。

今回の「GIGAスクール構想」により、唐津市では令和3年1月から、市内各小中学校に、随時一人1台PCの導入が進められていく予定です。

本校では、少人数という環境を活かして、これまでも小学校の時から、TV会議システムの活用による他校との交流や総合的な学習の時間における発表資料の作成など、積極的にPCを利活用して学習をすすめ、「一人一人の個性に合わせた教育」をめざしてきました。

今後、一人一人のニーズに合った学習用ソフトが開発され、より一層、「個に応じた教育」が全国規模で展開されていくことになると考えられます。

自立 貢献

～未来へはばたく
子どもたち～

佐賀県が作成している「佐賀日めくりカレンダー2021」に5年生の川野芽依さんのイラストが採用されています。掲載されているのは、1月19日分のカレンダーで、イラストの題は「笑う七賢人」です。

